

「神戸親和女子大学大学院紀要」投稿要領

決定 2004（平成16）年12月1日

- 1 本紀要は、以下の中から投稿希望を募るものとする。
 - (1) 大学院担当専任教員
 - (2) 大学院担当兼任教員
 - (3) 大学院修了者及び在籍者。ただし、在籍者の場合は研究指導教員と連名
 - (4) その他、編集委員会が認めた者
 - 2 本紀要への投稿は、未発表のものを原則とする。
 - 3 和文原稿は、横書きを原則とし、縦書きの場合は、編集委員会で検討する。原稿総枚数は400字詰原稿用紙40枚程度とする。原稿枚数が40枚を極端にこえる場合は編集委員会の裁量に委ねるものとする。
 - 4 欧文原稿は、タイプ用紙もしくはワープロ用紙A-4版を使用し、行内文字数70字、各行数25行で30枚程度とする。
 - 5 和文原稿には欧文の欧文原稿には和文の題名を付加する。原稿の性質如何によっては、欧文・和文の各レジュメを添付する。
欧文以外の外国語（例、アラビア語）の文字を使用する場合もこの原則に従う。
 - 6 論文原稿には、和文は200字程度、欧文は160語字程度の要旨を添える。また5語以内のキーワードを添える。
 - 7 論文原稿の体裁については、編集委員会が定めた「論文原稿の記載について」を参照して記述すること。
 - 8 図表などについては以下の各項にしたがう。
 - (1) 図表、写真、表、模様、デッサン等は、図1、表1など（欧文では、Fig. 1, Table 1, Photo 1, など）のように記入し、本文原稿の欄外、もしくは本文中に挿入箇所を明記する。
 - (2) 図、模様、デッサンなどは明瞭に書き、可能な限り図に寸法・縮尺などを記入すること。
図版等の極端に多いものは、予算をこえる分について自己負担とする場合もある。
 - (3) 図、写真、表などは本文に比べてなるべく少なくする。
 - 9 外国人の人名、地名などの固有名詞は、原則として原語とする。その他の外国語はなるべく訳語を用いること。外国語を用いる場合は、初出の際訳語に引き続いて（ ）をつけ示すものとする。
 - 10 参考文献や引用文献は、本文の終わりに「文献」の見出しで著者の姓を基準にしてアルファベット順に一括して記載すること。
 - 11 数式、化学式などは、その上と下を一行ずつ空けて書く。
 - 12 文中において、ゴシック、イタリック、ローマンの別を必要とするものには、(ゴ)、(イタ)、(ローマン) など、はっきりとその旨を明示する。
 - 13 校正は、原則として、投稿者の責任において行うものとする。ただし投稿者がやむを得ない事情で校正不能の場合は、投稿者は校正の方法・内容などを編集委員に一任するものとする。
 - 14 原稿の採否、掲載の順序、体裁、行替え、形式などは編集委員会がこれを決定する。
- 附則 この投稿要領は平成18年4月1日より施行する